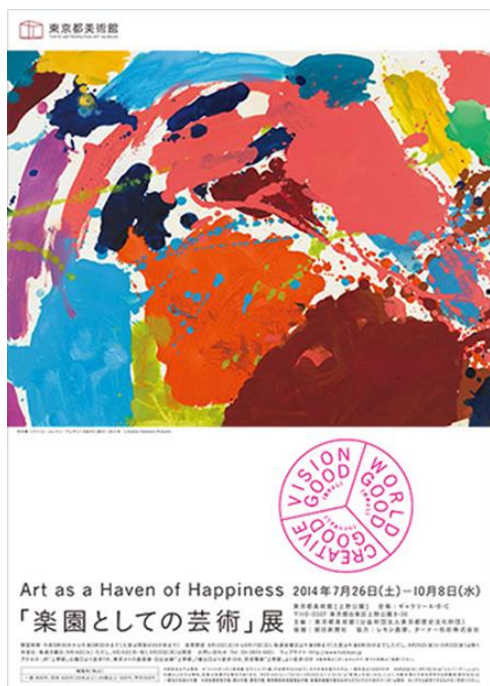




# 「楽園としての芸術」展 Art as a Haven of Happiness 2014.7.26-10.8



人の営みにおいて、芸術は本来どのような役割を担うものなのでしょうか？

本展では、「アトリエ・エレマン・プレザン」（三重、東京）と「しょうぶ学園」（鹿児島）で制作された絵画・立体・刺繍などを紹介します。つくる喜びとともに、何か深い感情で満たされているような造形の数々は、見るものを陶然とさせる魅力を放っています。

ダウン症などの障害がある本展のづくり手たちは、ひとり黙々と、あるいは談笑しながら、何の気負いもなく作品を手掛けていきます。

芸術の醍醐味とは、づくり手にも鑑賞者にも「特別な経験」が与えられることにあります。制作のなかで心が解き放たれ、その結果生まれたものが、また人の心を揺り動かすという奇跡のようなつながり。本展が新鮮な驚きとともに、世界に調和と幸福をもたらす芸術の可能性—「楽園としての芸術」のあり方を体感いただける機会となることを願っています。

○展覧会名 「楽園としての芸術」展 Art as a Haven of Happiness

- 会 期 平成 26 年 7 月 26 日（土）～10 月 8 日（水）  
 ○開室時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時 30 分まで（入室は閉室の 30 分前まで）  
 ○夜間開室 金曜日、8 月 12 日（火）～8 月 17 日（日）は午後 9 時まで  
 ただし、9 月 26 日（金）と 10 月 3 日（金）を除く  
 ○休 室 日 月曜日、9 月 16 日（火）  
 ただし、9 月 15 日（月・祝）、9 月 22 日（月）は開室  
 ○会 場 東京都美術館 ギャラリー A・B・C  
 ○主 催 東京都美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団）  
 ○後 援 朝日新聞社  
 ○協 力 レモン画翠、ターナー色彩株式会社  
 ○出品点数 約 100 点



## ○展覧会の見どころ

本展は「アトリエ・エレマン・プレザン」（三重、東京）と「しょうぶ学園」（鹿児島）という、知る人ぞ知る二つのアトリエの本格的な展覧会です。

**「アール・ブリュット」の既成概念が崩されるような、明るい作品世界**  
ダウン症の人らの手による、「絵画・立体・刺繍」など、施設を代表する多様な作品の数々が当館ギャラリーA・B・C に並びます。それらはさまざまなクリエイターたちをも魅了する、明るく生き生きとした世界観が表れており、「障害のある人の作品（アール・ブリュット）」といったこれまでの既成概念が崩れるようなものです。

### 会期中、特設スペースでの作品制作

会場では、制作の様子を映像でご覧いただけるほか、特設スペースにおいて、会期中、アトリエ・エレマン・プレザンのつくり手たちが不定期に制作を行います。1枚のチケットで2回、展示をご覧いただくことができるので、作品制作の進捗状況をご自身の目で確かめていただけます。

### 制作現場のスタッフによる言葉を手引きに

人の営みにおいて、芸術は本来どのような役割を担うものなのでしょうか？ 本展では、アトリエでの驚くべき制作風景を目にしているスタッフの言葉を会場に配し、鑑賞の有力な手引きとします。珠玉の作品の魅力と貴重な言葉の数々により、「楽園としての芸術」展という名のとおり、本展は「人に幸福と調和をもたらす芸術」の可能性をあらためて考える場になることでしょう。

## ○関連イベント

### 記念講演会「創ってきたこと、創っていくこと」

講師：福森伸（しょうぶ学園統括施設長）

日時：7月26日（土） 14時～16時（13時30分開場）

会場：東京都美術館 講堂 定員 225名

\*聴講無料。当日13時から講堂前で配布する整理券が必要です。定員になり次第、配布終了。

### 記念講演会「〈楽園としての芸術〉を語る」（仮称）

日時：9月15日（月・祝） 14時～17時（13時30分開場）

会場：東京都美術館 講堂 定員 225名

第1部 14時～15時

講師：高橋源一郎（小説家）

第2部 15時15分～17時

講師：佐久間寛厚（アトリエ・エレマン・プレザン東京代表）

聞き手：中原淳行（東京都美術館学芸員 本展担当者）

\*聴講無料。当日13時から講堂前で配布する整理券が必要です。定員になり次第、配布終了。

### 本展覧会担当学芸員による「フロアレクチャー」

日時：8月8日（金） 19時30分～20時30分／中原淳行学芸員

8月23日（土） 14時～15時／中原淳行学芸員

9月5日（金） 14時～15時／水田有子学芸員

9月28日（日） 14時～15時／水田有子学芸員

\*参加費無料。展示会場にお越しください（観覧料が必要です）。

## 〇トピックス

### 特設ウェブサイトを展開中

担当学芸員の生の声による、展覧会準備の様子などを情報発信中です。クリエイターからの応援メッセージも順次ご紹介します。

(掲載予定：デザイナー 吉岡徳仁氏、イラストレーター 大橋歩氏、ファッションデザイナー 皆川明氏)

<http://havenofhappiness.tobikan.jp>

#### 【吉岡徳仁さんインタビューより】(抜粋)

自然に体の中からあふれてくる、絶対に真似ができない色づかいに憧れます。突き抜けた才能とエネルギーの強さ、まさに“新たな表現”といえるのではないのでしょうか。

実験的な要素もあり、人に問いかける意味もある。そんな展覧会です。是非、みなさんに見ていただきたいですね。(吉岡徳仁)

### ブロガー向け内覧会「ブロガー★ナイト」の開催

ブロガーを対象とした特別内覧会を開催します。

日 時：7月30日(水) 18時30分～20時30分

\*申込受付は、本展特設ウェブサイト及び東京都美術館ウェブサイトにて、7月3日(木)より受付開始(予定)。

### 「楽園」展 in ミュージアムショップ

本展覧会記念グッズをミュージアムショップでご紹介します。

#### 1. しょうぶ学園のクラフトを特集販売

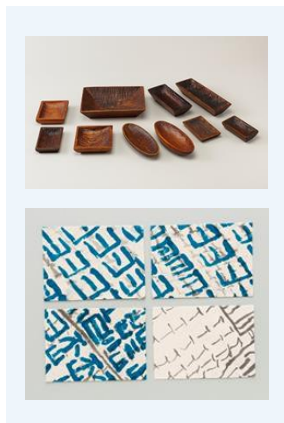
会場で展示される木製皿や和紙封筒、手描きバッグなど、普段は鹿児島県のしょうぶ学園でしか買うことのできない工房しょうぶのクラフトをミュージアムショップで取扱いします。

\*ミュージアムショップ内の黒板スペースで特集販売も行われます。

日程は、7月23日(水)～8月31日(日)(予定)

#### 2. アトリエ・エレマン・プレザン作品によるオリジナルグッズ

アトリエ・エレマン・プレザンの絵画作品によるオリジナルグッズを作成。ポストカード、缶バッチ、クリアファイルなどを会期中ミュージアムショップで販売します。



## 〇本展観覧料

一般 800 円、団体 (20 名以上) 600 円、65 歳以上 500 円、学生 400 円

\*高校生以下は無料

\*1 枚のチケットで、2 回の観覧が可能です

\*「メトロポリタン美術館 古代エジプト展」の会期中 (9/23 まで)、その半券を提示の方は、一般料金より 300 円引き

\*8月20日(水)、9月17日(水)は、「シルバーデー」により、65歳以上の方は無料

\*8月16日(土)、8月17日(日)、9月20日(土)、9月21日(日)は、「家族ふれあいの日」により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住)は一般当日料金の半額

\*身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と  
その付添の方 1 名は無料

※いずれも証明できるものを持参のうえ、会場入口でご提示ください

○図録

A4横版（H210 mm×W297 mm）  
170 頁程度（予価 1,800 円・税込）

図録の言葉より

美と生命



美には創る人も鑑賞する人も境がなく、ただ経験だけがあります。  
それは切実なものであるべきです。

美を経験することは生命の本質に触れることです。  
そこには豊かな味わいと、畏怖と敬意が生まれます。

作品だけでなく、日々の制作の場もそのような美しいものでありたいと思います。

佐久間寛厚（アトリエ・エレマン・プレゼン東京代表）  
2013年12月7日 ブログより抜粋

大事な事は、  
懸命になること。  
成功をあきらめること。  
緻密に計算しないこと。  
言い訳を考えないこと。  
周りを見ないこと。  
自分自身のためだけに目的をもつこと。

楽しいから木を削る。楽しいから絵を描く。楽しいから縫う。楽しいから積み上げる。楽しいから歌う。楽しいから丸める。楽しいから固める。楽しいから……。  
いいものが生まれる条件とは、その人にふさわしい環境と題材に恵まれたとき。そして他者からの目的によらないとき。  
環境とは、場所、空気、仲間、  
自分で環境をつくる。環境に出会う。

福森伸（しょうぶ学園統括施設長）  
しょうぶ学園 40 周年記念誌『創ってきたこと、創っていくこと』より

本展広報用素材として、別紙の画像 15 点をご用意しております。  
ご希望の際は、別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込みください。  
※広報用素材は、本展覧会をご紹介いただく場合のみご利用いただけます。  
それ以外の目的および、展覧会終了後は、ご使用になれませんのでご注意ください。

広報用素材

ご希望の際は、別紙の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。



(1)濱田幹雄(しょうぶ学園)  
無題 2009年 ©Shobu Gakuen



(2)濱田幹雄(しょうぶ学園)  
無題 2009年  
©Shobu Gakuen



(3)濱田幹雄(しょうぶ学園)  
無題 2012年 ©Shobu Gakuen



(4)濱田幹雄(しょうぶ学園)  
無題 2013年 ©Shobu Gakuen



(5)野間口桂介(しょうぶ学園)  
無題 2005年 ©Shobu Gakuen



(6)下川智美(しょうぶ学園)  
無題 2014年 ©Shobu Gakuen



(7)工房しょうぶ  
無題 2013年 ©Shobu Gakuen



(8)冬木陽(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《あか》2012年 ©Atelier Elément Présent



(9)冬木陽(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《あおあおあお》2013年 ©Atelier Elément Présent



(10)中野圭(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《花火》2007年 ©Atelier Elément Présent



(11)室橋里海(アトリエ・エレマン・プレザン)  
無題 ©Atelier Elément Présent



(12)岡田伸次(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《かあちゃんのかみのけがない》2012年  
©Atelier Elément Présent



(13)安澤美理(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《もようとカラフル》2011年  
©Atelier Elément Présent



(14)藤本悠介(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《JR 総武線》2006年  
©Atelier Elément Présent



(15)倉俣晴子(アトリエ・エレマン・プレザン)  
《マンション》2007年  
©Atelier Elément Présent

